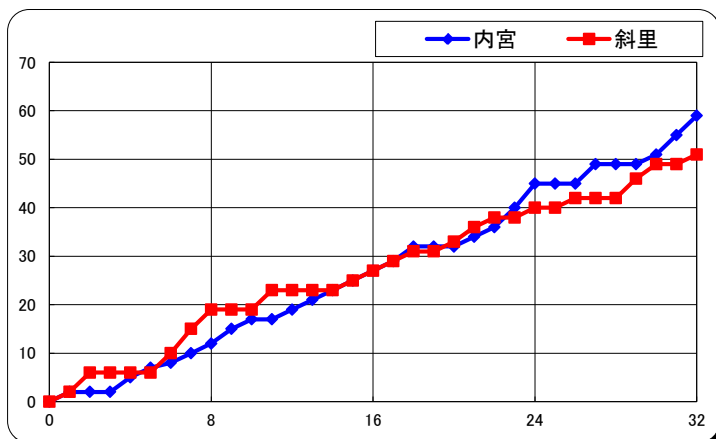




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 12:10																
コート	T Bコート	第3試合															
カテゴリ	男	予選リーグD															
主審	野々村日希	(岐阜)															
副審	津留賢人	(熊本)															
Team A		Team B															
内宮	59	51 斜里															
愛媛		北海道															
○		●															
	<table border="0"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12	1st	19	15	2nd	8	18	3rd	13	14	4th	11		OT		
12	1st	19															
15	2nd	8															
18	3rd	13															
14	4th	11															
	OT																

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		内宮						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	石丸聡一郎	DNP	0	0	0	0	0	
5	大城啓輔	DNP	0	0	0	0	0	
6	忽那納言	DNP	0	0	0	0	0	
7	石丸晋太郎	DNP	0	0	0	0	0	
8	大西泰輝	DNP	0	0	0	0	0	
9	滝野誠人	×	7	1	2	0	3	
10	猪田海大	DNP	0	0	0	0	0	
11	佐々木優也	×	5	0	2	1	1	
12	原幸伸	×	8	0	4	0	1	
13	渡部蒼	×	13	2	2	3	2	
14	光宗宏記	×	26	1	11	1	1	
15	永井将太	DNP	0	0	0	0	0	
16	鴨頭光	DNP	0	0	0	0	0	
17	首藤駿介	DNP	0	0	0	0	0	
18	矢野翔輝	DNP	0	0	0	0	0	
監督	篠崎真宏						0	
コーチ	荒井慎也						0	
合計			59	4	21	5	8	

Team B		斜里						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	山中悠生	×	22	1	9	1	2	
5	佐藤来喜	×	5	0	2	1	3	
6	市橋徹平	×	9	1	3	0	3	
7	市橋和紀	×	8	0	4	0	2	
8	中川璃久	/	2	0	1	0	1	
9	舟生拓夢	DNP	0	0	0	0	0	
10	宮崎詢基	×	5	0	2	1	1	
11	澤田玲也	DNP	0	0	0	0	0	
12	小口大輝	DNP	0	0	0	0	0	
13	大木慎也	DNP	0	0	0	0	0	
14	東谷拓実	DNP	0	0	0	0	0	
15	0	DNP	0	0	0	0	0	
16	0	DNP	0	0	0	0	0	
17	0	DNP	0	0	0	0	0	
18	0	DNP	0	0	0	0	0	
監督	須藤一雅						0	
コーチ	渡辺友章						0	
合計			51	2	21	3	12	

【戦評】

四国ブロック代表内宮と北海道ブロック代表斜里の一戦。1Q立ち上がり両チーム共にハーフコートマンツーマンDefでスタート。内宮は#13から#14への合わせで得点し先制。対する斜里は#4のジャンプシュートを皮切りにリバウンド、スティールからの速攻で#6、#5が得点し流れをつかみ斜里10-12内宮で1Q終了。2Q、内宮は#14の3P後、積極的にダブルチームを仕掛け、斜里のミスを誘い、流れをつかみかけるが、斜里も#7、#4の速攻が決まり流れを渡さない。互いに激しい攻防が続き、27-27の同点で前半終了。

後半、斜里は1-3-1ゾーンDefでリズムを変えようとする。3Q残り6分、内宮#13の3Pが決まり逆転に成功するが、守り合いの時間帯が続き両チームともに得点が伸びない。残り3分、斜里は#5のバスケットカウントでリードを奪うが、残り1分、内宮も#14、#12の連続得点で再逆転に成功、ここで、斜里はたまたまタイムアウト。マンツーマンDefに戻すが、内宮のOffが決まり、内宮45-40斜里で3Q終了。4Q斜里は2-2-1ゾーンプレスを仕掛け、残り2分#4の3Pで再び同点にする。内宮はタイムアウトを取り、Defを2-3ゾーンにして反撃を試み、#14、#12の得点でリードを6点にした所で斜里がタイムアウト。斜里は激しいプレスで追い上げようとするが、内宮は冷静なボール運びをして内宮59-51斜里で熱戦をものにした。

【戦評記入者】

遠山 良輝